

湯ノ丸山(2103m)・湯の丸スキー場から往復

平成22年3月21日(日)

メンバー:HM、JM、AT、IO、KO(記)

天候:曇り

コースタイム:湯ノ丸スキー場top(11:10-11:20)～湯ノ丸山頂(12:20-12:40)～スキー場top(13:10)

概要: 昨夜は風雨が強く、雨は朝に止んだが風はかなり強い。それでも天気が回復すると判断し、I・O・K・Oの2人は今朝5時に出発、10時40分に湯の丸スキー場に到着し、先発のHMさんらと合流する。天気は曇りであるがときおり晴れ間も出る。

早速準備をして、第1ロマンズリフトに乗りスキー場トップへ向かう。ここでシールを付ける。一旦少し下り、最初はゆるやかな登り、その後は登山道に沿って山頂を目指す。雪が少ないので、スキーを付けたままでの石段の登りには苦労する。これではまるで奈良の若草山のような。下りは板を付けたままで下れるのだろうか。3人パーティがスキーで下ってきたが、雪を捜しながら下降していた。

上部は風が強くなりウィンドクラストしている場所もあったが1時間ほどで山頂下に到着。ここでスキーを脱ぎ、雪のない山頂に向かう。山頂は風が強く記念撮影してすぐに引き返した。

計画では旧鹿沢スキー場へ向かって滑走する予定であったが、雪がなく諦める。クラストした斜面を慎重に下り、雪を捜しながらスキー場topに戻った。

駐車場に戻ってから、まだまだたっぷり時間があるので、鹿沢温泉に向かい、雪山賛歌発祥の秘湯「紅葉館」にて入浴を楽しんだ。



リフトに乗車・雪が少ない



湯ノ丸山を望む



湯の丸山への登り



山頂にて 風がきつかった



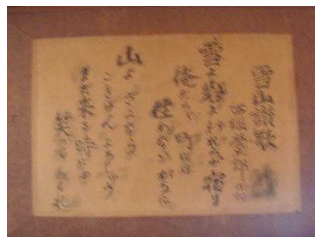
雪を求めての滑降



何とか雪は繋がっていました



鹿沢温泉・紅葉館



雪山賛歌発祥の地



玄関に展示された雪の用具